

スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現 (新潟市スマートシティ協議会)

- ・地域に潜在する価値「ヒト・モノ(場所)・情報(文化)」を活性化するデータ利活用インフラの実装により、地域と来街者の交流を促す**クリエイティブシティを実現**する。
- ・これまでの取組みを通じ、地域のエリアマネジメントや様々な取組みとのつながりが構築されており、今後は「**スマートシティ運営法人**」の設置により**スマートシティの確実な実装**を目指す。

■ 対象区域の概要

- 名称:新潟市中心市街地
- 面積:261ha
- 人口:16,449人(R2.4.30現在)

位置図



■ 都市の課題

地区の現状

- ・来街者減少による賑わい低下
- ・一方で優良ストックが多数潜在

課題

- ・既存ストック(ヒト・モノ(場所)・情報(文化))の最大活用
- ・点在するストックを結びつけるモビリティ環境の整備
- ・地域や民間による自発的、独創的なコンテンツの創出

■ 解決方法

※赤字部分の実装を目指す

- ・地域ストックを活性化するデータ利活用インフラとエリアマネジメントを実装

地域ストック(ヒト・モノ(場所)・情報(文化))

活用

アドバイザーツール
・スマート・プランニング

評価

スマートシティ運営法人
・都市OS管理

創出・運営

地域事業者

利用

サービス・プラットフォーム
・情報発信
・イベント
・空間活用
・モビリティ 等

データ

サービス導入

まちの賑わい
・来街者及び地域の活動が活性化

データ提供

サービス媒体
・統合アプリ、センサー等

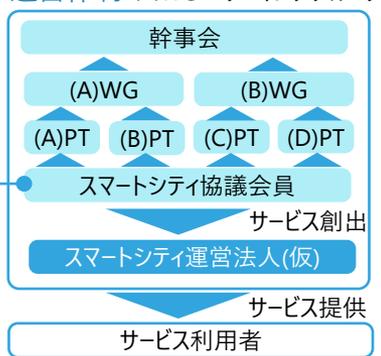
■ 運営体制

協議会構成員

技術提供	民間企業・団体 (39団体)※R4.9現在
地方自治体	新潟市
地域におけるスマートシティの担い手	古町:新潟古町まちづくり(株) ※都市再生推進法人 新潟駅・万代:検討中
有識者	新潟大学、 事業創造大学院大学

※PT:プロジェクトチーム

※WG:ワーキンググループ



■ KPI(目標)

区域の目標	プロジェクト全体のKPI	目標値(R4年度)
来街者の視点 回遊性の向上及び来街者の満足度やQOL向上	主要箇所における歩行者数・来街者数	R1年度比約3%増加
	区域内の一人あたり滞在時間	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
	区域内の一人あたり立寄り箇所数	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
地域・事業者の視点 まちなかならではの自発的・独創的コンテンツの充実	(参考)アンケート調査による来街者の満足度	※計測方法を精査
	区域内の空家・空き店舗の自発的な活用件数	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
	公共空間を利用したイベントの自発的な実施回数	2022年度まで 毎年前年度以上を維持
	地域企業等による自発的な統合アプリの活用件数	※計測方法を精査
	(参考)区域内における消費額の増加割合	※計測方法を精査

スマート・プランニングをエンジンとしたクリエイティブシティの実現 実行計画

※赤枠部分について今回実証

- ・統合アプリ、スマート・プランニング、タッチポイントを基盤に地域ストックを活かす様々なサービスプラットフォームを実装。
- ・スマートシティ運営法人の設置により、現行の取組みについてはR5年度からの本格実装を目指す。
- ・実装された基盤やサービス・プラットフォームを通じ、地域と来街者の交流を活性化し、まちの賑わいを創出する。

スマート・インセンティブ R3検討

地域の特性を活かした多様なサービスを来街者の手元に

地域との連携

商店街や観光・MICE団体と連携

花街文化



マンガ・アニメ

スマート・ウェルネス 企画検討中

健康・美容につながるアクティビティや食等の地域ストックを来街者に発信

地域との連携

商店街、有識者、医療団体との連携を予定

食文化



スマート・シティガイド R3検討

地域に潜在する伝わりにくい魅力を積極的に来街者に発信

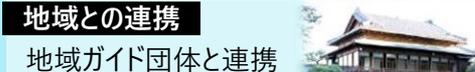
地域との連携

地域ガイド団体と連携

スマート・プランニング R2導入⇒R3発展



- 来街者 (Visitor)
- 地域事業者・団体 (Local business/organization)
- スマートシティコミュニティ (Smart city community)
- サービス導入 (Service introduction)
- サービス提供 (Service provision)
- データ (Data)
- タッチポイント (Touchpoint)



R2導入 ⇒ R3検討(発展)

統合アプリ

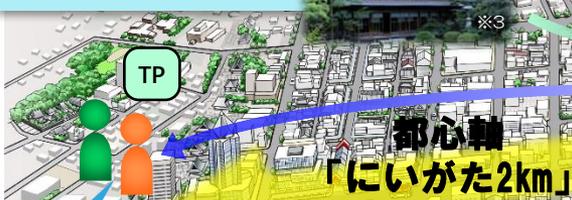
道路や公園等の空間を接点とした地域と来街者の交流が活発化

スマート・レンタサイクル R2実証 ⇒ R3検討(発展)

ICTの活用によりレンタサイクルの利便性が向上し、運用も効率化

地域との連携

レンタサイクル運営団体と連携



ICTプラットフォームを通じ、地域の魅力や人とのマッチングを促進

スマート・コンテンツ R2実証 ⇒ R3拡充検討中

地域の特性を活かした集客コンテンツを実施し、ICTを通じて地域への波及効果を創出

地域との連携

商店街と連携

河川敷ワーケーションオフィス(R2実証)



アプリやタッチポイントを通じ、レンタサイクルの再配置や賑わい創出等、まちづくりに積極参画

R3提案

アプリやタッチポイントを通じ、様々なサービスをダイナミックに享受

スマート・空間活用 R3実証

エリア内の様々なスペースの活用を促進

地域との連携

地域で活動する個人や団体と連携

シェアサイクルの導入



地域による道路空間の活用



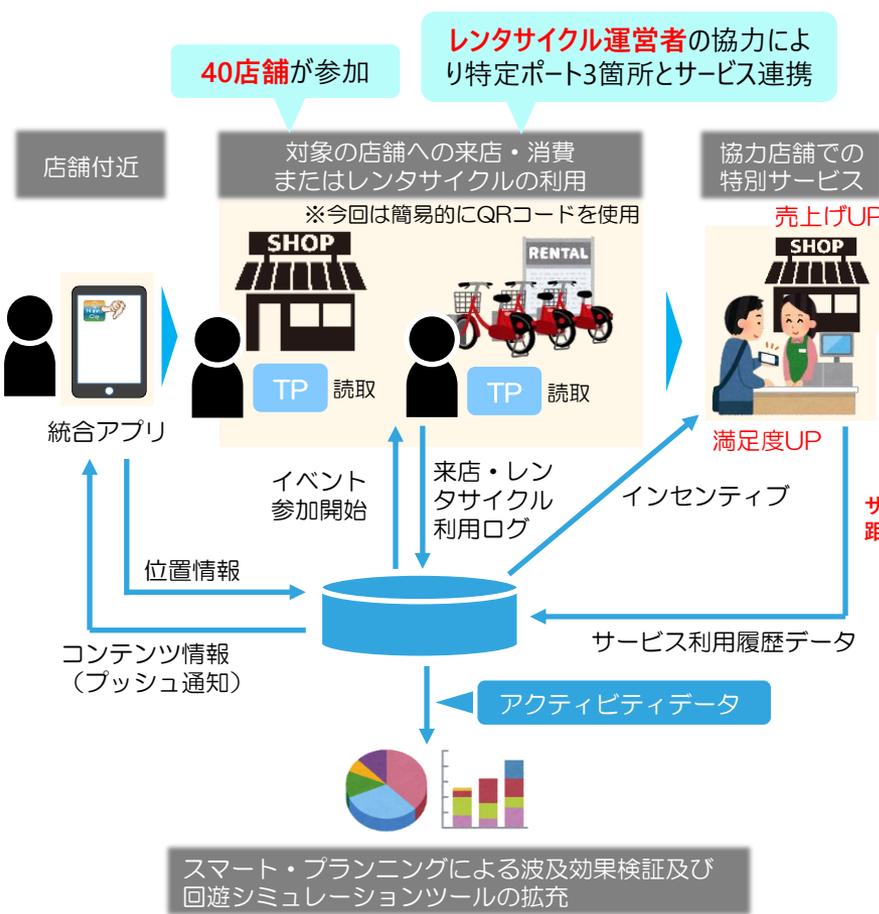
※1：日本海縦断観光ルートプロジェクトHP ※2：古町花街美食めぐりHP ※3：新潟市中央区役所HP ※4：新潟市食文化創造都市推進会議HP ※5：新潟市HP

これまで実施した実証実験の概要： 取組みの基盤部分の整備及びサービスの試行運用

- ・昨年度までに構築したデータ利活用基盤をさらに有効なものとするため、来街者や地域関係者と、スマートシティの新たな接点(タッチポイント)を整備し、昨年度以上に地域を巻き込んだ施策を展開。
- ・地域内の店舗やレンタサイクルと連携したサービス提供の実施を通じ、スマート・プランニングに有効となるアクティビティデータを取得した他、今後の実装に必要な地域連携に関する知見を取得。

■ 実証実験の内容

タッチポイントデバイスの導入によるスマートシティコミュニティの拡大実証



■ 実証実験で得られた成果・知見

①：人流データと紐づいた行動データを取得⇒サービス利用者の立寄箇所の変化を確認

◆タッチポイントのタッチ履歴データ
タッチ履歴データの取得 ⇒ 店舗ごとの来店状況等を把握

▲店舗別タッチポイントタッチ回数
◆レンタサイクルの貸借データ
レンタサイクルの利用特性を把握 ⇒ 拠点近隣にポートを置くことで回遊向上効果を期待

▲タッチポイント利用有無別の立寄り箇所分布比較

▲貸出ポート位置から1つ前の立寄箇所までの移動距離

▲タッチポイント利用有無別の立寄り箇所分布比較

②：実装に向けた地域の連携意向等を確認

- 【取組みへの参加意義】
・本取組に好感を示した参加者の理由では「地域とのかかわりが感じられた」が最も多かった（※「新たな来店者が増えた」や「店舗の事が周知できた」との回答もあった）
- 【今後の参加意向】
・半数程度の参加者から前向きな回答が得られたが、「積極的な周知・PR」が今後の課題
- 【運営の持続化のため、可能と考えられる負担額】
・「費用負担はしたくない」との回答が大半であり、取組のメリットや意義の共有が重要（※一部参加者からは年間1～5万円程度の負担の可能性が示唆）

スマート・プランニングによる波及効果検証及び回遊シミュレーションツールの拡充

- ・本実証を通じ、スマートシティの取組により創出された様々なサービスを提供し、地域との接点やデータ取得の媒体となる新たなデバイスが構築された。
- ・今後は構築したデバイス等を活用しながらデータの取得量や種類を拡大し、スマート・プランニングの機能強化を通じて都市マネジメントの効率化や地域関係者との合意形成等への展開を図る。

■ 実証実験で得られた課題

R3年度取組みの成果

- ・スマートシティサービスと地域との新たな接点となるタッチポイントの仕組みを構築
- ・タッチポイントを通じ、人流データ以外のアクティビティデータ(来店データやレンタサイクル貸借データ)を収集

実装までに残された課題

- ・他の取組によるサービスや収集データ等を統合管理するためのデータ基盤の構築
- ・収集した新たなデータを活用したスマート・プランニングの機能強化
- ・スマート・プランニングのユースケースの拡大(都市マネジメントの効率化や地域関係者との合意形成等)
- ・これまで創出したサービスの拡大・発展を行いながら持続的に運営を担う主体の位置づけ

※実装(持続的な運営)に向けた体制構築が必要

目指す到達点

- ・地域の事業者、団体、個人等が本取組で実装したサービスを活用し、自発的なサービスやコンテンツを発信
- ・スマートシティの取組が地域のエコシステムに組み込まれ、自走化

■ 今後の取組:スケジュール

項目	実行計画(第1期)			// (次期)
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度以降
ツール開発スケジュール				
統合アプリ	アプリ整備 機能追加	SNS連携・機能拡充	他施策との連携で 機能拡充	順次 本格稼働
スマブラ	エリア拡張 機能の拡張	他施策との連携で機能拡充		順次 本格稼働
都市OS	実行計画	各種取組みとの連動により段階的に構築		順次 本格稼働
タッチ ポイント		基盤整備	基盤拡充	本格稼働
施策導入スケジュール				
情報提供	実行計画	実証実験 (地域ガイド連携)	本格稼働 ※内容は随時拡充	
インセン ティブ	基盤整備	実証実験		本格稼働
集客 コンテンツ	実証実験 (水辺空間活用)	実証実験 (アプリ等連動)	コンテンツ拡充	本格稼働
レンタ サイクル	実証実験	運営効率・高度化	順次本格稼働	
公共空間等 の活用	実行計画	実証実験(屋外空間) 実証検討(空き家等)	実証実験(空き家等)	順次 本格稼働
ヘルスケア	実行計画	取組企画	実証実験	本格稼働
MaaS	実証実験(別途取組み)		モビリティ 相互連携、 アプリ統合	本格稼働
モビリティ				